

えひめ農林水産業振興プラン2021（農業編）の進捗概要

＜令和7年度＞

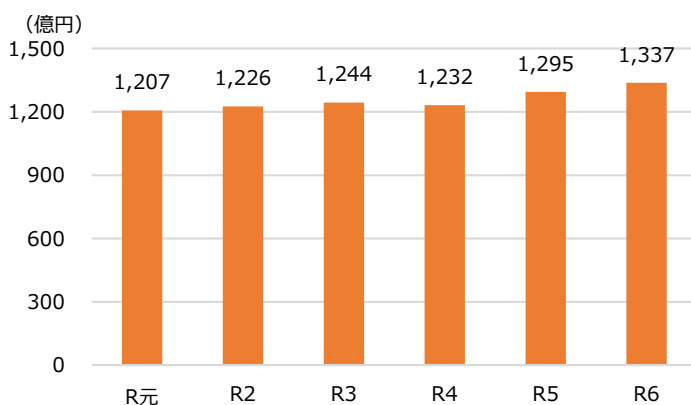
総括

○本県農業・農村の持続的発展を図るため、本プランでは「人づくり」「モノづくり」「地域づくり」の3本柱を掲げ、主要指標（令和7年農業産出額：1,200億円）達成に向けて、産地を支える担い手の確保・育成や生産振興、県産農産物のブランド力強化や国内外への販路拡大、基盤整備など様々な施策に取り組んだ結果、令和6年の農業産出額は1,337億円（対前年比：42億円増）と順調に推移しています。

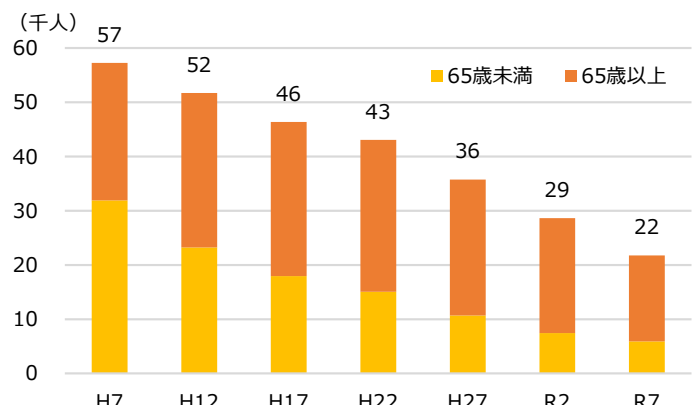
※令和7年は未公表

○一方、人口減少や高齢化の影響による担い手の減少が一層進んでいるほか、気候変動の影響による収量・品質低下や国内市場の縮小など、本県農業生産現場を取り巻く環境は厳しさを増しています。

○そのため、デジタル技術を活用したスマート農業の推進による効率化や生産力の強化、気候変動に対応するための試験研究開発や技術普及、紅コレクションを始めとした県オリジナル品種のブランド化や販路開拓など、本県農業の持続的な発展に向けた新たな取組も進めています。



農業産出額の推移 [出典] 生産農業所得統計（農林水産省）



基幹的農業従事者数の推移 [出典] 農林業センサス（農林水産省）

えひめ農業を担う「人づくり」

〔多様な担い手の確保・定着〕

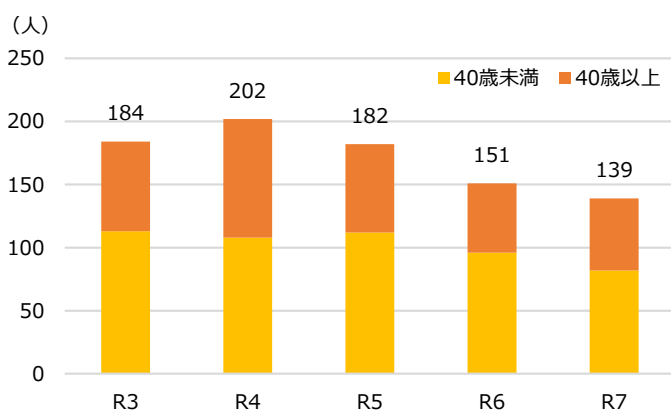
- ・えひめ農業カレッジ(県立農業大学校)での人材育成をはじめ、JAや市町等と連携した研修制度や就農受入体制の強化、えひめ愛顔の農林水産人（びと）等による魅力発信に取り組んだことにより、令和7年度は新たに139人が新規就農しました。

〔多様な担い手の経営支援〕

- ・えひめ農業経営サポートセンター等と連携した経営相談や指導、機械等の導入支援に取り組んだほか、気候変動や物価高騰に対応する体制を構築するため、農業保険やセーフティーネットへの加入促進に取り組みました。

〔多様な人材の活躍促進〕

- ・外国人材やみかんアルバイト、農福連携など多様な人材の活躍に向けた研修会の開催やサポート体制の構築に取り組みました。



新規就農者数の推移 [出典] 愛媛県調べ

項目	プラン2021 初年度値（R3）	最新値（R7）
県認定研修施設数（累計）	6件	12件
「さくらひめ」メンバー数	127人	176人
認定農業者数	4,438経営体	4,057経営体
収入保険の加入率	38.9%（R4）	44.0%
園芸施設共済の加入率	71.5%（R4）	87.5%
スリランカからの技能実習生受入数	0人	6人

「人づくり」に関する主な指標 [出典] 愛媛県調べ

えひめ農林水産業振興プラン2021（農業編）の進捗概要

〈令和7年度〉

えひめ農業で輝く「モノづくり」

〔えひめ農業の生産基盤整備推進〕

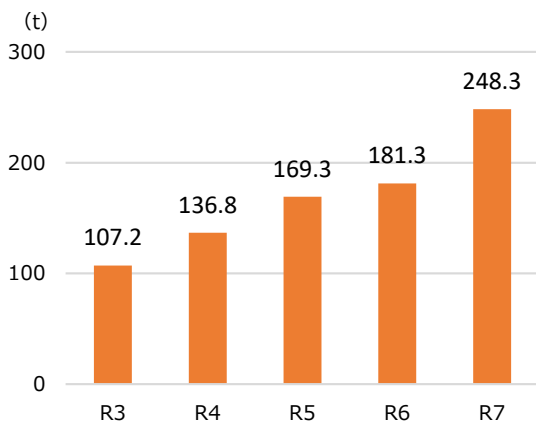
- ・水田の大区画化や園地の緩傾斜化・高機能化、水利施設の長寿命化等を実施しました。

〔えひめ農業の生産力拡大〕

- ・「柑橘王国えひめ」として確固たる地位を維持するため、生産基盤強化に向けた集出荷施設・栽培施設等の整備や、紅プリンセス等の県オリジナル品種の生産、PRを支援しました。
- ・県オリジナル水稲品種「ひめの凜」について、施設・機械の整備を支援したほか、首都圏等でPRを実施した結果、順調に栽培面積が拡大しました。
- ・気候変動による収量・品質低下等が懸念される中、産地や農業者の期待に応える試験研究開発や、スマート農業技術の開発・普及に取り組みしました。

〔えひめ農業の販売力拡大〕

- ・トップセールスや県外での愛媛フェア等を通じて、ブランド製品の魅力発信・販路拡大に努めるとともに、輸出力の強化により、県関与の県産かんきつ輸出量は過去最大の約248トンに増加しました。



県関与の県産かんきつ輸出量の推移
〔出典〕愛媛県調べ



紅プリンセス



水田スマート農業の実例
(リアルタイムで病害虫診断)



市場トップセールス

項 目	プラン2021 初年度値 (R3)	最新値 (R7)
ひめの凜 栽培面積、認定栽培者	312ha、309名	1,320ha、1,488名
「愛」あるブランド産品登録数	47品目83産品	50品目85産品

「モノづくり」に関する主な指標 〔出典〕愛媛県調べ

えひめ農業を支える「地域づくり」

〔食と農の大切さの伝承〕

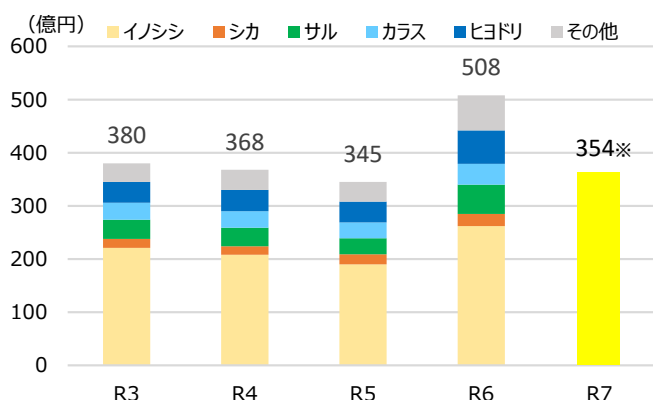
- ・県産農林水産物の認知度向上のため、PRツールを作成・配布したほか、県教育委員会や市町と連携し、生産者情報等のデータベース化・マッチングの推進を通じて、学校給食へ県産食材の利用を促進しました。

〔地域住民の連携促進〕

- ・農業・農村の多面的機能を支える地域資源の維持保全等への支援を通じ、地域の共同活動を促進しました。

〔快適で安全・安心な農村の暮らしの実現〕

- ・防災・減災対策として、ため池の整備や地震対策、海岸保全施設整備や地すべり対策を実施しました。
- ・攻め・守り・地域体制づくりによる鳥獣害対策を講じたことで、R6年度と比べ、被害額が減少しました。



野生鳥獣による農作物被害額の推移 ※内訳はR8年秋に公表予定 〔出典〕愛媛県調べ

項 目	プラン2021 初年度値 (R3)	最新値 (R7)
多面的機能支払い交付金 (農地維持支払) 交付面積	15,236ha	14,487ha
中山間地域等直接支払 交付金交付面積	10,627ha	9,574ha
担い手への農地集積率	34.2%	39.7%
ため池の改修・耐震対策 地区数	55地区	77地区

「地域づくり」に関する主な指標 〔出典〕愛媛県調べ